

サイバーセキュリティ岐阜

令和7年 1月発行
第91号

岐阜県警察本部
サイバー犯罪対策課
058-271-2424

関係者からのメール？それ本当？

もしかしたら、標的型メール攻撃かも？

日本国内の学術、シンクタンク、政治家、マスコミに関係する個人や組織に対して、安全保障や先端技術に係る情報窃取を目的とした組織的なサイバー攻撃が行われています。

攻撃事例



攻撃者



マルウェアを含むメール

端末がマルウェアに感染

件名に「勉強会案内」、「会合資料」、「委員会名簿」等と記載



リンク先を記載したメール

件名に「取材のご依頼」、「所蔵資料のおすすめ」等と記載



企業・団体・個人

情報流出 !!

被害に遭わないためには？

- 1 交流相手からのメールであっても普段と異なる状況がないか注意する
- 2 違和感があれば添付ファイルの開封やリンクをクリックしない
- 3 不審に感じたら送信者に確認する

例

- ・ マクロの有効化を求められる
- ・ ファイルの添付方法が普段と違う (Zipファイル、普段使用しない拡張子等)
- ・ 「勉強会案内」「委員会名簿」等、関心を引くキーワードの記載
- ・ 組織の元幹部、関係する専門分野の有識者を騙ったもの
- ・ メールアドレスが普段と異なるもの

MirrorFaceによるサイバー攻撃について (注意喚起)

<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/koho/caution/caution20250108.html>



- X (旧Twitter) -
『岐阜県警察サイバー
セキュリティ情報』



- Instagram -
『岐阜県警察サイバー
セキュリティ情報』



岐阜県警察